

木馬会会報 (第69号)

桜花賞特集



97/04/04

～木馬達の予想～

栄蔵の一番弟子 TP

◎…メジロドーベル シーズプリンセス

△…キョウエイマーチ、フミノパラダイス、ヤマニンザナドゥ

～TPの屁理屈～

断然強いと思われていたメジロドーベルが不可解な負け方をしたことで俄かに混沌としてきた今年の桜花賞。今年はとにかくレベルが低く、ドーベル、マーチ以外は、例年なら5番人気程度がやっという馬(オレンジ、シーズ)しかいない。といって、穴をあけそうな馬もいない。とにかく各トライアルを総洗いしてみよう。

まず、例年レベルの高いチューリップ賞。このレースは、勝ちタイム、ドーベルが出るために有力関西馬が対戦を避けたことから、非常にレベルが低かった。勝ったオレンジピールは、常に自分の力分走るSS産駒であるが、クイーンC及びこのレースの2着が強い馬ではないこと、その2着馬と接戦していることから、GIIIレベルがいいとこだが、今年の桜花賞はGIIIの力でも勝てる可能性がある。しかし、あの脚質ではスピード能力に優るマーチにつぶされてしまうはず。速い流れを経験していないことも減点材料。速さについて行けず、馬群の中で伸びもせずバテもせずという姿が目につく。3着ドーベルは、輸送があったにもかかわらずあの馬体増だったとおりに、確かに叩き台として出走しただけ。ただ、騎手が下手だった。阪神3歳牝馬の勝ちっぷり、タイム及びキョウエイマーチという快速馬が出走することによるHペースを考え合わせると、ライオン産駒がG1で通用するかという懸念は残るものの、本来なら断然の本命になってもおかしくない。しかしそう思わせない原因は騎手。東の豊といわれてるらしいが、俺は認めない。武豊より4つぐらいレベルが下である。G1という格の重さがない3歳G1だから勝てたまでのこと。クラシックの1番人気に乗って勝つには10年早い。その分割り引かざるをえない。本当にこのレースで連をはずすようなら騎手が下手、ライオン産駒は、G1では足りない結論づけざるをえない。一応本命マークはつけておくが。

続いてトライアル。こっちはまだチューリップ賞よりレベルが高く、正直言って、あんなに離して勝つとは思わなかった。1400という距離、スムーズに流れに乗れ、最後はラチ沿いを走れたこともあるだろうが、それにしてもあの着差は普通じゃない。例年ならこういう馬はいんちき臭いとも思うのだが、今年のレベル、あの着差を見ると、やっぱり消せないよなあ。でもこんな名前の馬に勝って欲しくないよなあ。ただ、現実には1600ではそれほどの力差は感じないので、いんちき臭いというイメージを取って、連穴。その他には、トライアルらしい仕上げで、トライアルらしい走りを見せたシーズプリンセス。その堅実性は、今年のような混戦では貴重な財産。実際G12着もあるので、◎を打つ。血統が貧弱で善戦の域を出ないような気もするけどね。3着のヤマニンザナドゥは、人気薄の3着で普通ならいらないのだが、血統的には良いものを持っており、このメンツなので残す。

アネモネSは馬連8万近くついた配当、そのメンツから、残すのもどうかと思うが、フミノパラダイスは下記の①にあてはまるので残す。

トライアル組からは以上。そのほかは今まで穴を出してきたパターンを振り返ることで挙げていきたい。

①元々素質馬として期待されていた(イブキパーシヴ、ファイトガリバー)

②重厚な血統で勢いのある馬(ファイトガリバー、ワンダーパヒューム)

③抽選で出走権を得た馬(ファイトガリバー、ツインクルブライド)

④桜花賞が得意な騎手(ファイトガリバー、ワンダーパヒューム、オグリローマン)

これらの条件にあてはまる馬を探してみたが、該当するのはまずダイイチシガー。この馬は、②以外全部あてはまる。あとはホーネットピラス。①③にあてはまる。以上2頭のみ。しかし、シガーはこの人が弱気な時は本当にいらぬという伊藤雄二が、本当に弱気なのでいらぬだろう。ホーネットピラスもやっぱり狙いすぎか。結局穴になるかなと期待してみたものの、上位人気馬だけで決まるだろうというのが結論。

このレースの自信度50%で、今後のためにこのレースは、ライオン産駒はG1で通用するのか、やはり今年の4歳馬はレベルが低いのかの判断材料にしようと思う。

今年、出足好調だったが、2、3月の回収率が何と30%台。いっきに回収率が落ちた。過去のデータから比較的回収率の高い4月で挽回したいもの。現在の回収率63.3%

ふえら

会社を辞めてもう3日がたってしまった。ちょっと淋しい。

淋しくても、お金がなくても、麻雀が弱くても、馬は走る、G1はやってくる。やってきました春のG1街道、桜花賞。桜が咲き乱れ、別れの春が終わり出会いの春がやってくる。昨年よりも早く咲いた桜の花が淋しい僕の心を慰めてくれる。君たちは淋しい僕のために去年より早く咲いてくれたんだね、んっ、早い、早いといえば僕が8年も付き合っていた彼女が今月結納をするらしいではないか、ちょっと早いんじゃないか。別れたのは去年の10月。今の彼とは12月頃に付き合ったはず。結納なんて早いんじゃないのか、8年も付き合っていた僕の立場はどうなるんだ。毎年毎年彼女の誕生日には指輪をプレゼントし、7年目の誕生日には婚約指輪といっしょにプロポーズしたではないか。あの時喜んで涙を流してくれた君はどこへ行ってしまったんだ。確かに僕は浮気もした、それも何回もした。うそもついた、数限りなくついた。約束も守らなかった。何回も何回も破った。破ったといえば、あそこも、おっと失礼、約束した待ち合わせの時間も何回も破った。守ったことがないかもしれない。内緒で君の財布からお金を持っていったこともあった。ピンサロ、ヘルスをはしごした日に「ごめん、今日体調悪いんだ。」と言い訳して君の誘いを断ったこともあった。でも、ソープへ行った後はがんばって一緒にお風呂も入ったし、Hもしたじゃないか。「ひーちゃんの肌って、つるつるしてるね。」ってやさしい言葉をかけてくれたじゃないか。僕がいったい何をしたって言うんだ!あのかわいくて、賢くて、やさしい君はどこへ行ってしまったんだ。そう、彼女は僕じゃない幸せにしてくれる男性のプリンセスになるのです。

なるほど、シーズプリンセスか。後は、女に弱いやつはいつまでも弱いし強いやつはいつまでも強いということで、河内のオレンジピール。7馬身の圧勝劇はやっぱり魅力のキョウエイマーチ。そして、前回こけてくれたおかげで今回は信頼がおけそうなメジロドーベル。ちょっと固いですが、この4頭のボックスでいきます。

最近競馬は非常に調子がいい。そこのついていないミスター×、悪いことはいわない、僕にのりなさい。さもないと春のG1街道が終わる頃には僕に抜かれてしまうぞ。その時は経理部合議の決裁書は君に持ち回ってもらうから覚悟しておきたまえ。

◎シーズプリンセス、
○オレンジピール
▲キョウエイマーチ、メジロドーベル

ライスシャワシャワ

ライスシャワのヨソウはよそう？

◎シーズプリンセス、○メジロドーベル
▲キョウエイマーチ、△レディブライティア・プロモーション

トライアルでは、ドーベルの暴走とマーチのブツ千切りしか印象に残っていないが、どちらが本番に向けて上積みがあるかと言えば、ドーベルだろう。確かに、今回も折り合いがつかないことがあるかもしれないが、「魔の桜花賞ペース」という言葉があるくらいだから、おそらくチューリップ賞のようにスローな流れになることはないだろう。そうすれば、折り合いピタリ、巻き返しがあっても不思議ではない。たいして、マーチはあまりに派手に勝ち過ぎであり、さらにメンバーが強化される本番で、同じことができるかと言えば怪しいものである。1,600mでも勝ってはいるが、それは直線平坦な京都での話。阪神では、3着に負けている。確かにスピードでは他の馬に負けることはないだろうが、スピードがあり過ぎるが故に、自分のスピードが命取りになってしまうこともある。去年のマイルCでファビラスが惨敗した例もあるわけだし。

前置きが長くなりましたが、本命はシーズプリンセス。前走・4才牝特でマーチにつけられた7馬身差は確かに大きいですが、しょせんはトライアル。休み明けだったわけだし、追い込んでの2着確保を評価したい。どのレースでも確実に追い込んでくる末脚はここでも十分に通用する。

相手には、メジロドーベル。チューリップ賞での暴走が再発しないとも言えず、2番手評価。この馬については、あれこれ言うことはなく、限りなく本命に近い対抗である。

▲、△候補の馬であるが、終わってみればスピードの違いで押し切ってしまうことも考えられるキョウエイマーチが▲。4才牝特では、密かに期待してしていたが、不利があったことから惨敗してしまったレディブライティア、熱発明けではあるが、仕上がりは良さそうなプロモーションに△をつける。

ここ数年は荒れている桜花賞ではあるが、今年は牝馬路線はシーキングザパールをはじめとしたマル外軍団が強いので、賞金800万クラスの馬でも、6/7だかのいい確率で出走できるほど、レベルが低い（と思うのですが）ため、今年は高賞金の馬たちの争いになるでしょう。結局は、マーチとドーベルの一騎打ちなのではないでしょうか？

予想はウソヨ 四国の井崎

木馬会の皆様、こんにちは。

四国の井崎は3月1日付けで東京へ転厩となりました。草野さんの送別会には動燃のアスファルト火災事故の対応でバタバタして出席できませんでしたが、いずれまたお目にかかれると思いますのでどうかよろしく。関西情報がお伝えできなくなったのは残念ですが、おもしろい予想を披露できればと思います。本誌を独走していたツインクルダンディ氏が東京から離れても、福井から予想を出されるということでこちらも大いに励みになります。頑張ってください。

◎キョウエイマーチ
○メジロドーベル シーズプリンセス △フミノパラダイス、タヤスナミムラ

私の時計評価を上位組を過去3戦示してみました。900万級以上にランクされる馬、芝で+0.5秒、ダートで+1.0秒以上の時計を計時したのはわずか5頭でした。先週のクリスタルカップの11頭とは大違い。ということは外国産馬がすごいということでしょう。しかし例年の桜花賞と比べても今回のメンバーは決して見劣りしません。むしろ高いと言えます。何度も言っていますがこの現4歳世代というのは現8歳世代と同じように相当強い世代となるでしょう。

5頭の他に人気のオレンジピール、ダイイチシガー、そしてTP氏から問い合わせのあったホーネットピアスを掲示しておきますがオレンジ以外ははっきりいって500万クラスの力しかありません。私はバッサリ切り捨てます。フミノパラダイスは前走がフロックでないことをタイム評価が示しています。

A キョウエイマーチ	+1.2(ダ)	+0.7	+1.2
B シーズプリンセス	+0.7	+0.4	+0.1
C メジロドーベル	-0.1	+0.7	-0.7
フミノパラダイス	+0.6	-1.1	+0.2
タヤスナミムラ	+0.2(ダ)	+1.1	-2.4
オレンジピール	+0.4	+0.1	-0.3
ダイイチシガー	-0.6	-0.1	-0.1
ホーネットピアス	+0.1(ダ)	-0.7(ダ)	-1.4

キョウエイマーチ断然です。予想の目はオレンジまでの5点としますが、馬券はマーチの単複とフミノまでの3点で勝負。G1なのでキョウエイマーチからの5の目買いも少々です。

キョウエイマーチはテスコガビーに似たグラマーで去年のファビラスラフィンとも感じが似ています。初戦ダートを大差勝ちし、エルフィンSでは逃げずに抑えて先行抜けだしという桜花賞の模擬レースをして2戦目で差されたホッコービューティにあっさり雪辱しています。全く言って死角はない。あるとすればドーベルの方でしょう。桜花賞では騎手の比重が大きい。松永幹夫と吉田豊では将来はともかく現時点では幹夫に1馬身アドバンテージがあります。昨年G1を2勝した四位'sプリンセスが過去3戦すべて黒字であり、時計、騎手でドーベルより安定。3戦目以降全て本命にしてきたキョウエイマーチと心中です。縦目は買いません。

利口なTP
少し早めの桜前線

キョウエイマーチが勝つ。

いきなり勝馬宣言から今回の予想はスタートしてみた。

過去の桜花賞で、私個人として自信のあった軸馬は三頭いた。それらを自信度順にあげると、

1. シャダイカグラ
2. ショノロマン
3. ツィンクルブライド

である。今回はシャダイカグラに匹敵するくらい自信がある。従って連はほぼ外さないであろう。しかしながら恐らく予想は外れることであろう。なぜならば、上記3レースではほとんど儲かっているのである。

シャダイカグラの時は、本命一対抗的中したにもかかわらず、アイドルマリーファンドリポボの3-3に目が眩み馬券的にはこちらを本線にしてしまったため(そのくせオークストライアルではこの馬券買ってないの、馬鹿みたい)。ショノロマンの時はアラホウトクを無視ぶっこいておおハズレ。ツィンクルブライドのときは当たったのは複勝のみ。単勝もとれないいいし連勝なんて10点位買って外してやんの。

従って、的中への近道はキョウエイから抜けめ。これで決まり。

さてレースであるが今年も魔の桜花賞ペースになることは容易に想像がつく。しかしながら快速娘キョウエイマーチは2馬身ぐらい離れた2、3番手を追走、3コーナー過ぎから馬なりでまくり、4コーナー手前では逃げ馬の外びったリマーク、直線に向くや否やロケットスタート、テスコガビーと同じくらい強烈な勝ちかたをするであろう。間違ってもエリザベスでタレントィトガールに差されたマックスビューティのようににはならないはずである。

では相手を考えていこう。上記レース回顧(になるといいな)から逃げ、先行はかなりきつくなる。キョウエイの騎手の幹夫が岡部みたいな『鼻差でも勝ち』という騎手なら先行馬にもまだ望があるのだが、そうではないので全滅する。たれた先行馬どもがバタバタになったところを追込み炸裂の2着争い、と考えるのがいたって普通の考え。となるとやはりメジロドーベルが相手筆頭であろう。直線のレース模様は、まさに父ライオンが後の祭りとなってから追込み、ユキノサンライズがあっさり逃げきった中山記念の再現となることであろう。80%このとおりの決まると思われる。しかし私にはこの馬券にドンと行く勇気も金も無いので残り20%にかけてみたい。

将来は別にして、初クラシックで1番人気(2番人気かもしれない)、しかも前走でミソをつけた吉田豊に、ライバルキョウエイがスイスイ先行しているレースでプレッシャーを感じながら、後方でじっとしているだけの度胸はあるのか、と考えたら疑問である。ハミをかえ気持ちよく走れるようになったドーベルはキョウエイをねじ伏せるためビッタリキョウエイの番手をとるが、直線に向いたところで桜花賞ペースの恐ろしさを知ることになるであろう。となると、大舞台でも平気で後方追走を決め込める図太い神経の騎手の馬を相手に選ぶ。やはり吉永正、とくだらないことはやめて、

蛸名正…プロポーション

四位…シーズプリンセス

を本線にあとはチョビチョビと遊ぶ予定。後はいらぬ馬と枠を挙げておこう。オレンジ共済会は一皮向けばぼろぼろ。従って今まで順調にきたオレンジもここで皮(ピール)がむけぼろぼろ。枠で言うと7枠、それに百(桃)男もぼろぼろなので8枠。

ここまで読んで桜花賞の予想のタイトルの意味が分からないでしょう。ここで教えましょう。3月の終わりに上野公園を二人があるいていた。

『今年は暖冬だったので桜前線の北上が早いね。』

『ほんとだよ。あそこなんかもう満開だよ。』

『ギョエ、3月に桜が満開だよ。ギョエ、マーチに桜が満開だよ。キョウエイマーチに桜が満開』
オーイ、座布団全部持ってけ。これじゃ当たらんわな。

第57回 桜花賞

21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	番号
			キョウエイマーチ	グランシェール	メジロドーベル	レディブライディア	タヤスナミムラ	アンダンテ	ヤマニンザナドゥ	シーズプリンセス	フミノパラダイス	オレンジピール	ホーネットピアス	スロクエリタージュ	スプリングダイアナ	エイシンアーバン	タニノマウナケア	ワンダーステラ	ミニスカート	プロモーション	馬名
			◎		△					○	▲	△					△			△	トウインクルガソッティ
			△		◎				△	◎	△										TP
			△		◎					△	△	◎									へなりん
			◎		○					▲	△	△									ドロンジョ
			◎		◎					▲											おけらくん
			△		△					△		◎							◎		メーブルズ
			◎	△	◎					△		△									ミスターX
			◎		○				△	△	▲	△									YO
			◎		▲					▲	○										心配御無用!
			▲		▲					◎		○									ふえら
			△		◎				△	○		▲					△				ラッキー
			▲		○	△				◎									△		ライオンライズ
																					ナニのラッキー

有馬	桜花	皐月	天春	NHK	高松	ホウ	優駿	安田	宝塚	秋華	天秋	菊花	川女	マイル	JC	阪北	朝日	スプリング	有馬	7.7
トウインクルガソッティ		○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	☆	○	○	○
TP		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	☆	○	○	○
へなりん		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ドロンジョ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
おけらくん		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メーブルズ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ミスターX		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
YO		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
心配御無用!		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ふえら		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ラッキー		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ライオンライズ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ナニのラッキー		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○…20倍 ◎…20~50倍 ☆…50倍~

さて春競馬もいよいよ本格的に始まりました。木馬会メンバーに多くの人事的移動があり、投稿が少なくなりましたが、今後は四国の井崎さん関係の競馬狂いの方々の寄稿文も載せて行こうと思います。これからもよろしくお願いします。次号は、もちろん皐月賞特集です。